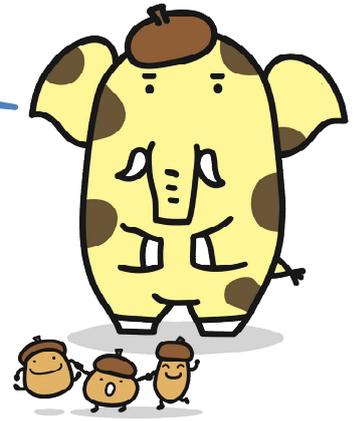


ニイザ

213ささえあい隊NEWS12号



☺ フォーラムが無事終了しました！

9月29日(日)に実施した「支え上手・支えられ上手になろう！ーにいざ支えあいフォーラムPart2ーに274名のご参加をいただきました。十文字学園女子大学佐藤陽教授による講演、新座市内各圏域の協議体による取り組みの発表を行いました。このフォーラムを通して地域の中に「支えあい」の意識が広まっていくことを期待しています。

☺ 9月の活動報告

東部第一圏域(片山、池田、野寺、道場) とういち かいんど 東1 KIND

協議体の愛称：片山：Katayama、池田：Ikeda、野寺：Nodera、道場：Doujyou

4地区の頭文字を合わせて→かいんどKIND 「KIND」英語の意味=親切心、優しさ、思いやり…です。

☆「この地、新座に住んで良かった！」と喜ばれるような、KIND 優しさのある地域づくりを目指します！

【協議体】12名参加(東洋大学生1名：社会福祉士現場研修)

- 1 フォーラム：活動報告の発表練習を行い、パネル展示の内容を決めていきました。
- 2 地域で支え合える「ゴミ出しサポート」の仕組みづくり
 - ・4地区のゴミ集積所の現状の情報共有→パネル展示に使用する写真選定
 - ・住民参加型「有償ボランティア」制度検討

東部第二圏域(畑中、馬場、栄、新塚) 東二よつばの会

【協議体】15名参加(基本は奇数月の開催ですが、10月24日も臨時開催します)

○9月29日開催のフォーラムに向けてのリハーサル、パワーポイントの修正・確認を行いました。

○フォーラム前日のリハーサル時間やパネル展示設置時間、当日の流れを確認しました。

○就労支援B型事業所「ここから」の場所での活動である「ここルーム」の活動内容等を検討しています。

- ・『世代を超えたふれあえる場所づくり』がテーマなので、子供に絞らずに大人も一緒にやれることを考える
- ・お客様はいなくて、誰もが主役になれる場所になるように考えていく
- ・活動を見ていることが好きな人もいたので、その場所に来てくれるだけでもよい。
- ・力を入れすぎないように、やっていきたい

等の意見がありました。これらの意見をふまえながら、引き続き「ここルーム」の検討していきます。

西部圏域(本多、あたご、菅沢、野火止1～4丁目、西堀、新堀)

協議体参加者：10名

★【高齢者と子育て世代の孤立問題】

今月は、具体的にどんな「孤立」があるのか、どんな解決の取り組みがあるのかなどを参加者の皆さんに調査してもらった。高齢者では独居、老老介護問題など、子育て世代では親自身が人見知り、同年代友人との生活環境の変化によるすれ違いなどの理由で「孤立」状態になっている事があるようだった。

高齢者、子育て世代を交えた取り組みとしては「子ども食堂」などが挙げられた。

また、『孤立問題』に対しては、見守り体制の構築が必要なのでは？との意見も見受けられた。

★次回の協議体では、引き続き「孤立」について検討するとともに、本テーマに関する視察検討も行う。

南部圏域(石神、栗原、堀ノ内)

《 協議体 》

- ・9月29日開催のフォーラムに向けて、リハーサル練習を行いました！
実際のパワーポイントを見て、もっとよくするために意見を出し合いました。
- ・南部福進協と協議体がお互いに連携しながら活動できるように、交流会をしたいと意見があがりました。
- ・地域での居場所づくりについては継続して検討中です。

《 生活支援ボランティアグループ立上げに向けて 》

- ・老人福祉センター利用者有志が集まり、地域のつながりづくりや生活に関わる部分での支援など、地域が抱える課題に対して、どのように取り組んでいけるか話し合いをしています。

北部第一圏域(東北、東、野火止5～8丁目)

【協議体】今回は10名の方と北二から1名の方（活動紹介発表者）が参加されました。

- 1.地域の活動紹介（料理教室クラブ・ご近所の相談窓口 地域ささえあいセンター北二、北野の森保育園）
- 2.仲間を増やすためのチラシづくりについて
- 3.フォーラム壇上発表のリハーサル
- 4.フォーラム当日の役割（パネル展示の説明を手の空いた全員で行う）
- 5.次月の協議体の議題、地域の活動紹介、進行役の決定

【北ートピックス】

- ・9月24日（日）ふれあい連絡会（担い手組織）の定例会議を開催。防災・高齢者の健康・世代間交流できる場所づくりを中心に活動を進めていく。まずはアンケート調査を実施することを決定。

北部第二圏域(中野、大和田、新座、北野)

【協議体】9月の協議体は、25名が参加。次の事項を協議しました。

1. フォーラム：活動報告のデモンストレーションを行い、完成したパネルの実物を展示。
2. グループ討議：各グループで次の内容を討議。

「高齢」：高齢者が引きこもりになっている状況を把握するため、高齢者相談センターやデイサービスなどから提供してもらえないかを調査する。「障がい」：引きこもりがちの高齢者の安否確認の見守りを障がいのある人にもできる方法を検討する。見守り以外にも、買い物代行などを検討してみてもどうか。「子育て」：イベントを告知する方法は、世代別に考え、高齢者や障がいのある人には、紙媒体（チラシやポスターなど）、親世代には、フェイスブックやツイッターなどのSNSを活用する。

次回協議体開催予定

東部第一圏域	11月1日（金）	13:30～15:30	中央公民館
東部第二圏域	11月28日（木）	10:00～12:00	畑中公民館
西部圏域	11月8日（金）	9:30～11:30	新座市役所
南部圏域	11月1日（金）	14:00～16:00	堀ノ内集会所
	13日（水）	14:00～16:00	堀ノ内集会所
北部第一圏域	11月16日（水）	10:00～12:00	東ふれあいの家
北部第二圏域	11月15日（金）	13:30～15:30	北野ふれあいの家



※参加を希望の場合は、下記までお問合せください。



問合せ 新座市役所 福祉政策課 生活支援コーディネーター
TEL:048-424-4693 FAX:048-482-5221

